

2020年 新年のごあいさつ

大磯町長

中崎 久雄



新年あけましておめでとうございます。元号が令和となり初めての新春をそれぞれの決意を胸にお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

3期目がスタートした昨年は、町民の皆さんの町への想いである、「聲」を大切にまいりました。卓話集会においては、10年後の大磯町について皆さんと膝を交え共に考え、意見を交わすことができました。この他にも様々な機会を通じていただいた皆さんの「聲」とともに、誰もが安全で安心に生き生きと暮らせる町をめざし、町政運営に取り組んだ一年でした。

本年はいよいよ第四次総合計画の最終年を迎えました。町が最終目標として掲げる「交流人口の増加と定住人口の安定化」に向けて、念願であった「大磯港賑わい交流施設」が完成します。町の観光、経済、賑わいの拠点として、交流人口の増加をめざしてまいります。また、昨年開所しました「石坂巻子記念子育て支援センター」や、今年1月に開所を迎える「横溝千鶴子記念教育研究所」において、子育てと教育のさらなる充実を図り、若い世代の皆さんに「大磯町に住んで良かった」と思っていただけの環境を整え、定住人口の安定化につなげてまいります。

本年は将来の町の指針となる第五次総合計画を策定する重要な年でもあります。これまでの取組みの成果を次期計画につなげ、さらに前進させていく「勇往邁進」の年となるよう全力を尽くしてまいります。

結びに、本年が皆さんにとりまして、幸多き実りある年となりますよう心からお祈り申し上げます、年頭のあいさつとさせていただきます。

大磯町議会議員

高橋 英俊



謹んで新年のお慶びを申し上げます。日ごろから大磯町議会に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年日本各地で地震や水害による被害が発生しました。被災された方々の一日も早い復興をお祈りいたします。さて、平成から令和へと新しい時代の幕が開け、私たち議会議員も7月から新たな構成となりました。議長として、町民の皆さんと歩む議会であるよう、議会運営を行っております。

議会の説明責任を果たし、町民の皆さんの意見聴取を目的に実施している議会報告会は、より多くの方にご参加いただくため、開催方法や運営方法の見直しを行っております。5月に開催した議会報告会からは、新しい試みとして「テーマに沿った意見交換」を実施いたしました。また、11月の開催からは、開催のご案内を全戸に配布するなど実施ごとに改善を図っております。たくさんの方にご参加をいただくようになり、町政や議会に対する関心の高まりを感じているところです。今後も皆さんの意見をしっかりと聴き、政策提言につなげていきたいと思います。

さらに、今後は町内で活動する各種団体の皆さんとの意見交換を積極的に行い、町民の代表者として議会の責務を果たしたいと考えております。

結びに、皆さんのご健勝とご多幸を祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。